

# しんりんかんだより

年主題

「つながって」～今、わたしを生きる～

月主題 3F/2F じっくりと/分かち合う

‘22 第9号 (vol.69)

2022年12月1日発行



## 「出会い」

「自分は人に恵まれている・・・今までいい人にしか出会ってこなかった。」と来春に社会人になる息子が呟いていました。「そうかもしれないね～」と相づちを打ちながら、そうだろうか・・・と息子を通して、子育ての日々とその中で出会ってきた人を振り返りました。

コロナ禍で人との関わりが制限される生活も3年目となり、少しずつ制限の中でも出来る事を考えられるようになってきました。そして3年ぶりに秋祭りを開催することが出来ました。「私誰だかわかる？」「えー誰だっけ～??」と園長も頭を抱えるほど、3年ぶりに会う卒園児は、とても大きく立派になっていました。大きくなっても、親隣館に帰って来てくれることが何よりも嬉しかったです。「やってるって聞いて、来ちゃいました～」忙しい時間の合間を縫って立ち寄ってくれた保護者の方もいました。沢山の笑顔がコロナ禍で疲れた心と体に沁みました。人はひとりでは生きられません。毎日を様々な人に支えられ関わり合って生きているのです。その出会いを実りのある物と捉えるかどうかはその人の心もちになのではないでしょうか。

クリスマスの物語の中にもたくさんの出会いがあります。心の優しい羊飼いが、一番最初に飼い葉おけの中のイエス様に出会うことができたこと、マリアが天使にであい、戸惑いながらもその御言葉を受け入れたこと、その心の中に周りの事を思い煩う前に、真実を受け入れる純粋な心を感じます。ひとり一人が、その気持ちを感じながら演じてほしいと思います。

クリスマスが終わると年長さんは、あっという間に卒園を迎えます。親隣館での出会いが心の根っことなり、人生のさまざまな出会いを実り豊かな物にしていって欲しいと願います。

(主任 鹿糠 正美)